



合同プレス発表会で発表する佐野社長



「COCOAR2」を
インストールして
写真にかけると
発表風景が見れます。

40

クロスリアリティー
株式会社

VR、ARで地域密着・ 社会貢献を目指す

昨年9月10日に開催された平成30(2018)年度「第1回新商品・新サービス合同プレス発表会」で発表した各社と商品を紹介するコーナーです。今回は「VRサロン」のクロスリアリティー株式会社をご紹介します。



クロスリアリティー(株)
代表取締役 佐野 顕光さん

(仮想現実・拡張現実)の実体験ができるのが、クロスリアリティー(株)が運営する「VRサロン」です。都内では、平成29(2017)年ごろから、VR等が体験できるアミューズメント施設が多々ありますが、地元「宇都宮」ではほとんどありません。また、ゲームではなく、安全・介護など生活に役立つVR体験ができる施設は全国的にもありません。

「VRだけでなく、現実の世界にコンピュータ・グラフィックスを埋め込むAR(オーグメントッド・リアリティ)など、さまざまな技術を体験することができま」と、同社の佐野顕光社長は話します。

当初、VRゲームができるJPPVR社の「VR筐体」を全国初で導入。飲食もできるバスベースも設置し、新しいコラボ形態で「VRサロン」をスタートしました。2月からは、VR体験・パーティーや、会議室・宴会などに利用できる店舗シェア形態にリニューアルしました。また、

飲食店のチャレンジショップとしても利用できるようにしています。その一方で、佐野社長は都内のさまざまなVR作製会社と提携し、官公庁や介護施設などの企業にもプレゼンをすすめています。

「VRやAR技術を使えば、さまざまなシミュレーションも可能です。酔っ払った状態を追体験することで、いかに危険かを知ることができ、事故防止につながります。またドローンで撮影した映像と組み合わせて、これまでになかった仮想の観光体験もできます。さらに、体の不自由な方にVR技術で本当の街を歩いているような体験をしていただくこともできます」

さまざまなアイデアを次々に披露する佐野社長。この「VRサロン」をスタートラインとして、先進的な技術を使った新たな事業に挑戦しています。



VR-Salon+空cafe(店舗内)